



## 「第1回広島県地域職業能力開発促進協議会」を開催しました



活発な議論が展開されました（令和6年11月1日開催）

### 協議会・構成員について

広島労働局及び広島県の共催で、令和6年11月1日『第1回広島県地域職業能力開発促進協議会』を開催しました。この協議会は職業能力開発促進法第15条の規定に基づき開催されるもので、地域における人材ニーズを適切に反映した訓練コースの設定を促進するとともに、訓練効果の把握・検証を通じた訓練内容の改善等について、関係機関と情報を共有し相互の連携を図りながら、地域の産業に必要な人材の育成や県内産業の発展を目指しています。

協議会の構成員は、学識経験者、事業主団体、労働者団体、職業訓練実施者、職業紹介事業者、福祉関係団体等で、当日は14名の出席となりました。

※ 地域職業能力開発促進協議会の議事要旨は後日、広島労働局HPに掲載予定です。

ハロートレーニング ～ 急がば学べ～

【この記事のお問い合わせ先】 広島労働局職業安定部訓練課 ☎082-502-7831

## ワーキンググループによる公的職業訓練の効果検証について

広島県公的職業訓練検証ワーキンググループは、適切かつ効果的な職業訓練を実施するため、個別の訓練コース（IT分野と介護・医療・福祉分野）の訓練実施機関、訓練修了者、修了者採用企業からのヒアリング等を通じて、訓練効果を把握・検証し、令和7年度の訓練カリキュラム等の改善を図ることを目的としています。

改善促進策として、IT分野では、実際に現場で必要とされるスキルを訓練で習得するため、求人ニーズに沿った内容となるよう改善を行うとともに、訓練受講により得ることのできる知識やスキルについて、より一層の具体化・見える化に努めること、介護・医療・福祉分野では、介護施設の種類ごとで必要とされるスキルを習得できるよう、実技・実習や職場見学を充実させ、現場の実情が知れる機会を提供するとともに、幅広いコース設定に努めることとしています。

## 令和7年度公的職業訓練の実施計画策定方針について

重点分野として、デジタル技術の活用による地域社会の課題解決を進めるため『デジタル分野』に加え、2025年問題である第一次ベビーブームに生まれた団塊世代が75歳以上の後期高齢者となり、今後、介護人材の不足が懸念されていることから『介護福祉分野』を選定するとともに、地域ニーズ分野として、広島県の強みであるものづくり産業の発展に向けて、基本となる技術の習得を目指すため『ものづくり分野』を選定することで了承されました。

## 職業能力の開発及び促進の向上に係る取組について

中国経済産業局から『デジタル人材育成に向けた取組』、広島県から『地域リスキリング推進事業の進捗状況』、愛媛大学から『しまなみ未来社会人材育成プラットフォーム及び地域共創型リカレントプログラム』等、職業能力の開発及び促進の向上に関する取組について説明がありました。

※ 地域職業能力開発促進協議会の議事要旨は後日、広島労働局HPに掲載予定です。